

# 第24回市展

11月18日～25日

## 出品規定など 決まる

今年で二十四回目を迎えた「南国市展」の開催要項が、次のとおり決まりました。

多くの方の出品をお待ちしています。

■期間・11月18日(日)～25日(日)までの8日間。

■時間・午前9時～午後5時。ただし、初日の18日は午前10時から開会式を行い開館。最終日の25日は午後4時閉館。

■会場・市民体育館

### 一般の部

■部門



洋画、日本画、書道、漫画、デザイン、彫塑工芸、写真

■審査員

洋画―筒井広道、日本画―山本梅尾、書道―中田雀色、漫画―平山昌幸、デザイン―森本忠彦、彫塑工芸―加藤寛、写真―畑山信紀、岡崎達彦

■出品資格

南国市在住、または勤務・在学する者、および出身者。

■出品点数

一人一部門に五点以内

■出品手数料

一点につき三百円

■出品規格

日本画：色紙は除外。

書道：ガラス張り又は横一辺以内の作品に限る。所定の用紙に楷書で釈文を添えること。

漫画：劇画、一コマものほか漫画描写で、ワク張りか額縁に入れること。

写真・四つ切り以上全倍までのワク張りに限る。

以上のほか、出品作品の規格、その他は原則として各部門を通じて大きき等は制限しないが、会場都合や会場にふさわしくないものは制限する場合があります。

■搬入  
11月13日(火)、午前10時～午後7時まで、市民体育館で受け付けます。

### 幼児・児童生徒の部

■部門

絵画・版画、デザイン・工作・彫塑、習字(毛筆、硬筆、ペン字)、写真

■出品資格

南国市内に在住、または在園在学する四歳以上の幼・保育園児・児童生徒に限る。

写真は市内在住の中学生に限る。

■出品規定

各部門とも、大きさや点数に制限がありますので、各学校の担当の先生の指導を受けてください。

■搬入

10月30日(火)、午前9時～午後5時まで、大隣地区公民館で受け付けます。

※市展について詳しいことは、教育委員会社会教育課(☎2111内線314)でお尋ねください。

## 図書館だより

### 新刊案内

【一般図書】

女絵かきの誕生(丸木俊

▼少年(大岡昇平)▼逃走

(桑桓平)▼秋の朝光のな

かで(辻邦生)▼ふたたび歌え(中

里嘉昭)▼独り暮らし(二ノ瀬綾

▼鳥の影(柴山翔)▼岩佐寛之書

(宮尾登美子)▼女たちのモスク

ワ(秋山洋子)▼迷走地図(①)(松

本清張)▼にせユダヤ人と日本人

(浅見定雄)▼円テーブルの家族

(円より子)▼中国へのアプロー

チ(今堀誠二)▼オキナワの少年

(東峰夫)▼世界演劇論事典(安

堂信也)▼海からの光(小川国夫)

▼鬼がきた(①)(長部日出雄)▼

世の中や(岡嘉誠一郎)▼オホー

ツク妻(田中小実昌)▼江分利満

氏の優雅な生活(山口瞳)▼れく

いえむ(郷静子)▼大部農後者(宇

野信夫)▼美は乱調にあり(瀬戸

内晴美)▼私の夢日記(横尾忠則)

▼明日こそ鳥は羽ばたく(河野典

生)▼燃える秋(五木寛之)▼ゴ

ニラバニラ(舟崎克彦)▼八月の

修羅(三枝和子)▼テニスコート

(曾野綾子)▼現代小説78(日

本文芸家協会編)▼冬の雁(三浦

哲郎)▼花嵐(井上靖)▼暗い流

### 一般の部

■部門

れ(和田芳恵)▼下々の女(江夏

美好)▼謝肉祭(津島佑子)▼四

十一番の少年(井上ひさし)▼悲

の器(高橋和巳)▼震える舌(三

木卓)▼峠(三浦朱門)▼風祭(八

木義徳)▼絵で見るワープロ活用

法(緒方健二)▼職人ことば辞典

(井之口有二)▼日本語のゆれ(真

田信治)▼脱ニッポン型思考のす

すめ(小室直樹)▼世論操作(日

・I・シラー)▼人生の途上にて

(クローニン)▼ことばの聖(高

藤武馬)▼蒼きめた馬(ロープシ

ン)▼聖少女(三好徹)▼人間を

さがす旅(青木悦)

